

令和５年度 鳩山町議会「町民と議員のまちづくりカフェ」報告

主催：鳩山町議会

日時：令和５年 11 月 19 日午前 10 時から 12 時まで

場所：地域包括ケアセンター 地域の交流スペース

I 次第

1. 開会（司会進行） 野田まちづくりカフェ PJ 委員長
2. 開会あいさつ 石井徹議長
3. アイスブレイク ジャンケンゲーム 大賀副議長
4. ワールドカフェの説明
5. 空き家対策、災害対策、高齢者の暮らし、少子化対策について意見交換
 - （１）第１ラウンド
 - （２）休憩 チェンジタイム
 - （３）第２ラウンド
6. グループ発表
7. 閉会あいさつ 大賀副議長

II 概要

新型コロナウイルス感染症のために６年ぶりの開催となった。議会基本条例施行後、初の取り組みでもある。

長らく住民の皆さんと直接お話しする機会がなかったこともあり、報告会ではなく、参加者が自由に話し、参加者同士もつながることができるように、ワールドカフェ方式で懇談した。町民の皆さん 29 人が参加され、議員は 12 人全員が出席した。

６テーブルに分かれ、４つの項目（空き家対策、高齢者のくらはは各２テーブル）について意見交換した。議員は各テーブルに２人、話の進行や特定の人に発言が偏らないように配慮した。

第１ラウンドはくじ引きでテーブル席を決め、第２ラウンドは参加希望テーブルを聞いた。

休憩時間には、お茶とお菓子を楽しみながらテーブル移動を行った。

<テーブル A 空き家対策>

空き家を活かし移住推進

課題１ 移住支援

対策・リフォームプラン具体案 ・リフォーム補助金

- ・JAXA 住宅学生賃貸 ・学生バイト先を増やす
- ・家賃を学割に ・庭石など困難な課題解決

課題2 子育て支援

- 対策・給食の無償化 ・シングルマザー支援 ・学童保育の更なる充実
- ・インパクトある移住補助金 今宿小キャパ拡大

課題3 行政政策

- 対策・老朽空き家固定資産税UP ・魅力あるまちづくり
- ・福祉の充実で移住者呼び込み ・ワンストップ窓口
 - ・空き家問題大きな取り組みを ・文教都市化
 - ・空き家についてパブコメを

課題4 空家有効利用

- 対策・所有者の意識向上 ・空き家処分方法ガイド ・相続支援
- ・空き家を子育て世代へ ・JAXA住宅レンタルルーム

課題5 空き家情報発信

- 対策・ママ友口コミ利用 ・インパクトあるマーケティング戦略
- ・空き家売却成功事例発信 ・所有者意識アンケート
 - ・空き情報広く発信 ・さかさま不動産

課題6 交通問題

- 対策・高速通勤バス運行 ・高坂最終バスを遅くして
- ・にっさいへ買物は路線バスで

課題7 町民 自治会 協力

- 対策・自治会が協力・管理 ・住民の意識改革 ・空き家活用研究
- ・多世代に空き家連絡事務所

課題8 その他

- 対策・インフルエンザ補助金を ・自治会員を増やしたい
- ・これからますます空き家が増える ・鳩山の空き家は質が良い

<テーブルB 空き家対策>

「空き家」を減らして町の魅力をアップする！

課題1 解体の問題

- 対策・老朽空き家除却費補助金制度の拡充 ・固定資産税の対策
- ・行政代執行が可能に

課題2 交通不便さ（買い物・病院通い）

- 対策・社協の生活支援の充実と周知 ・デマンドタクシーの周知
- ・バスの増便 ・インターネットの利用

課題3 「管理不全空き家」の是正措置

対策・町の取組み状況の見える化 ・空き家対策特別措置法改正の周知
・特定空き家の認定、指導、勧告

課題4 空き家のリフォーム

対策・リフォーム費用の助成制度導入

課題5 空き家の利活用促進

対策・町が空き家を借り上げ ・町が売却と賃貸

課題6 相続の問題

対策・町の魅力を伝える

課題7 問題意識の共有

対策・空き家問題の勉強会 ・相談会の開催

<テーブルC 防災対策>

生命・財産を護る

課題1 防災

対策・鳩川の底砂撤去 ・鳩山公式 LINE で防災意識UP
・排水経路調査チェック ・法面（傾斜）チェック崩壊防止

課題2 水害公共工事

対策・河川工事 国分コンクリート周辺 ・鳩川の底砂撤去
・水害予報を迅速に ・赤沼、石坂地区の越辺川工事 ・鳩川浚渫工事
・がけ崩れ対策工事

課題3 災害情報伝達

対策・近所の状況を防災無線で知らせる ・宅内ラジオによる防災情報
・どこでも聴こえる防災無線

課題4 交通災害

対策・とちのき通りスピード取り締まり ・道路にバンク設置

課題5 避難備蓄

対策・地域防災訓練 ・災害時の備蓄 防災備品 ・高齢者避難声かけ
・避難経路確認

課題6 助け合い

対策・被災地域安否確認 ・被災後の助け合い ・高齢者避難声かけ

課題7 地震・火災・防犯

対策・空き巣対策 ・山火事が心配

課題8 その他

対策・鳩山公式 LINE で普及イベント

＜テーブルD 高齢者のくらし＞

豊かな老後

課題1 健康（運動）

対策・仲間づくり ・趣味を継続する ・体操教室への参加
・犬との散歩 ・睡眠時間の確保 ・ボランティア活動

課題2 栄養（買い物）

対策・配食サービスの充実 ・給食センターの活用で配食
・麻見江さんの車での訪問販売 ・移動手段の充実

課題3 情報

対策・若い人との接点 ・高齢者に分かりやすい広報 ・家族のフォロー
・近隣のフォロー ・高齢者用のアプリ（端末）の整備

課題4 つながる

対策・友達づくり ・社会参加 ・民生委員のなり手不足の解消
・民生委員がステキ ・孤独感の解消

課題5 日常の連絡網

対策・近くに住む友人 ・大切な人の電話番号を常に表示
・町内会への参加 ・AI の活用 ・議員が仲介する

課題6 認知症対策

対策・ゴミ出しの中学生のお手伝（鶴ヶ島市） ・認知症カフェの充実
・薬の開発 ・早期受診 ・家族の見守り

課題7 お金

対策・国民年金の引き上げ不安 ・ヤング or ビジネスケアラーの負担軽減
・介護保険制度が解らない不安

課題8 社会活動

対策・社会貢献

＜テーブルE 高齢者のくらし＞

高齢者が輝き、安心して暮らせる町

課題1 交通網の整備

対策・デマンド交通の充実 ・巡回バスの復活
・身体の具合が悪い時にかかる病院がある。

課題2 人口増

対策・若い人（主婦等）の働く場をつくる ・企業誘致 ・農業（休耕地）

課題3 コミュニティー充実

対策・高齢者への情報の伝達 ・一人暮らしの安否確認
・ゴミ出し、清掃当番の検討 ・町内会員を増やす ・声かけ運動

- ・公営浴場の設置（交流の場として） ・楽しいイベントの開催
- ・一人暮らしの高齢者の把握。

課題4 生きがいを持つ

- 対策・周りの役に立つ。知識は宝。生きていることを実感できる。
- ・仕事（お金）になる事業 ・やりたいことを見つける
 - ・有償ボランティア。活躍の場がある

<テーブルF 少子化対策>

こどもの笑顔がいっぱいに

課題1 子育て施策の充実

- 対策・学校教育の充実 ・たくましい子どもに ・自然環境を活かした子育て
- ・学童の充実（今宿はいっぱい） ・学童で習い事もできるとうれしい
 - ・農村公園に遊具がほしい ・相談相手が欲しい ・予防接種に助成を
 - ・不妊治療にもっと助成を
 - ・親同士のコミュニケーション ・ひばり保育園がすばらしい

課題2 ここで子どもを育てようと思える環境づくり

- 対策・自然環境 ・酸素の供給地 ・健康に暮らせる ・花いっぱい運動

課題3 結婚しよう

- 対策・男女交流の場を作る

課題4 Uターン

- 対策・働く場所 ・若い人が住みたくなる町 ・外部に発信できるイベント
- ・健康長寿 ・災害が少ない（NT） ・幼少期の思い出がある

課題5 人口流入

- 対策・子育て支援日本一を ・魅力づくり
- ・20年住み続ければ新築戸建て住宅がもらえる茨城県境町の取り組みを
 - ・子育て支援金等の所得制限撤廃 ・0歳からの無償の子育て支援センター
 - ・賃金アップ

課題6 地域の見守り

- 対策・歩いていける場所にこどもの居場所 ・こども食堂の充実
- ・高齢者とこども、障がい者のコラボイベント ・ボランティア
 - ・コミュニケーションの充実

Ⅲ アンケート結果

参加者：29 人

回収：28 枚

■地域

今宿	10人	36%
亀井	5人	18%
NT	13人	46%

■年齢

30代以下	40代	50代	60代	70代	80代以上
1人	3人	4人	2人	12人	6人
3%	11%	14%	7%	43%	21%

■何で知ったか（複数回答）

町広報	議会だより	ポスター	回覧板	インターネット	その他
12人	6人	5人	3人	0人	9人
43%	21%	18%	11%	0%	32%

議員から6人
友人・家族3人

■開催日

日曜日	土曜日	平日	土日	いつでも
18人	5人	1人	2人	1人
64%	18%	3%	7%	3%

記入なし1

■開催時間（複数回答）

午前	午後	夕方以降
24人	5人	1人

記入なし1

■回数

年に1回	2回	その他 4回	できるだけ多く
9人	17人	1人	1人
32%	61%	4%	4%

■カフェはいかがでしたか	良かった 28 人	
■また参加したいですか	参加したい 26 人	参加したくない 1 人
	記載なし 1 人	

■いかがでしたか

- ・参考になりました。
- ・議員の皆さん 開催ありがとうございました。
- ・より多くの人に出会うことで自分の未熟さを気がつかせていただきました。
- ・普段交流のない世代との交流はとても新鮮で、いろいろな意見が聞けるので素晴らしいと思います。
- ・このように気負わずまちのことを話せる場は嬉しいです。
- ・もっと若い世代が参加できたらよいなと思いました。
- ・情報交換することで、現状を知ることができた。→個人でも活用できる。
- ・楽しい雰囲気になるよう設定されていました。
- ・さまざまな意見を聞いて参考になった。
- ・テーマをもっと絞った方が良いのではないか。
- ・情報をいろいろ取れて良かったと思う。
- ・報告が適正であったグループは良かった。
- ・和気藹々と話せた。
- ・いろいろの意見が聞いて良かった。
- ・もっとかたくりしいと思いましたから。
- ・言葉での意見を聞きすぎるとマンダラチャートを作ることできなくなると思う。紙での意見の方が、いろいろたくさんの意見が集まる。

■また参加したいですか

- ・議員さんと直接お話できる有意義な機会と思う。
- ・勉強になりました。
- ・知識を得ることができる。
- ・鳩山町内の方を相互に知ることができて良かったと思います。
- ・シリーズ化したほうが良いと思う。
- ・議員さんに話を聞いていただける。
- ・問題解決まで行けなくても 1 人 1 人が考えるきっかけになった。
- ・他の地域、若い人たちの意見を聞くのが勉強になります。
- ・同じ内容でも他でもまた楽しく参加したいです。
- ・いろいろなお話が聞いて楽しく感じました。

(続く)

- 参考になりました。
- このように気負わず町のことを話せる場は嬉しいです。
- テーマをしぼった方がなお良い。
- 本当にいい会だと思う。こういう話し合いの会はもっと頻繁に行うべき。
議員からの声かけで集めた参加者ではなく、もっと告知して自発的に参加者が増えると良いと思う。
- 自分の意見を言えて良かったです。
- 多岐にわたる意見を聞くことができ感謝です。
- みなさんのご意見をお聞きできて良かったです。

■自由記述

- 若い世代が参加しないとただの話し合いで終わってしまう。
実現するには若い方の話を聞くべき。
- テーマごとに現在、鳩山町が行っている施策など（進行中・検討中も含めた）を紹介していただけると、課題の抽出など進めやすいと思います。

Ⅳ まとめ

ワールドカフェは初めての体験の方が多かったが、どのテーブルも和やかに楽しく意見を出し合えた。29 人の参加で、皆さんから貴重な意見を聞くことができた。中には、具体的な提案をしようと構えて参加された方もおられたようだが、結論を出さないワールドカフェには戸惑われたかもしれない。しかし気楽に意見を出し合うという議会側の意図は汲み取っていただけたと思う。

アンケートに関して、29 人中 28 人の方に協力いただけたことは驚きであった。ほぼ全員が参加して良かった・また参加したいという感想からも、今回のまちづくりカフェの満足度が高かったことが伺える。

60 代以上の参加者が 71%、50 代が 14%、40 代以下が 14%であった。

開催回数は年に 2 回という回答が 61%であった。議員と話がしたい・意見を聞いてもらいたいという町民の皆さんの思い・期待を強く感じた。

Ⅴ 総括

町民の皆さんとの対話は楽しくて、予定の 2 時間はあっという間に終わった。

今回のワールドカフェ（グループワーク）は、初めての開催だったが、試行錯誤しながら、町民と議会との距離を近づけ、町民に身近で信頼される議会を目指す新しい取り組みとして、町民と議会、議員がそれぞれの立場を理解する、お互いの信頼関係を構築するには、とても有効であると感じた。

若い世代・多様な町民の自発的な参加が望まれる。魅力的でマンネリ化しない企画など議会側の工夫・努力が必要だと思う。

今回、いただいた意見を町政に反映すべく、議会が真摯に取り組むことが町民の皆さんとの信頼を築くことにつながる。肝に銘じて取り組んでいきたい。

受付に関しては、参加者一人一人にテーブルの希望を聞いたこともあり、予想以上に手間取り、受付待ちの行列ができてしまった。スタッフの配置やスムーズな流れなど、次回は熟慮して臨みたい。

反省点も多々あるが、議員全員が積極的に準備から片付けまで行い、町民の皆さんと和やかな対話・対応ができたと思う。参加者の皆さんも全員が笑顔で帰っていかれたことは、何よりもうれしいことであった。

備品購入や印刷物、会場準備など事務局のサポートにも感謝する。